

## 京都銀行から送信するメールにブランドアイコンが表示されます

平素より格別のお引き立てをいただき、厚く御礼を申し上げます。

さて、京都銀行は、なりすましメール対策として「BIMI」(Brand Indicators for Message Identification)を2026年3月10日(火)から導入します。

これにより、お客さま等のメール受信者側がBIMIに対応したメールサービスを利用されている場合、京都銀行ドメイン(kyotobank.co.jp)から送信された正規のメールについては、京都銀行のブランドアイコンが表示され、京都銀行から送信されたメールであることが判別しやすくなります。

### 【対応メールサービスでの表示例】

京都銀行から送信する正規のメールの場合、京都銀行のブランドアイコン「」が表示されます。

【正式なメールの場合】

【なりすましメールの場合】



当行を騙るなりすましメールやお客さまのメールシステムの設定等によってはブランドアイコン「」が表示されません。

※お客さまのメールシステムの設定等により、銀行ドメインを使用した正式なメールが不審メールと判断され、ブランドアイコンが表示されなかったり、迷惑メールフォルダで受信される場合があります。

京都銀行は、お客さまが安心してサービスをご利用いただけるよう、今後ともセキュリティ機能の強化に努めてまいります。